

2024 度（令和 6 度）幼稚園教育計画書

園番（27）福山市立緑丘幼稚園

園長名 明石 早希子 印

（教育目標）

「心豊かにともに伸びる“たくましい子ども”の育成」

- ・やさしい子（友だちの気持ちを受け止められる子）
- ・考える子（自分の思いを伝え、友だちと一緒に考えられる子）
- ・粘り強い子（自己肯定感をもち、目標をもって取り組める子）

（教育目標設定の理由）

本園は、市中心部から離れた東部に位置している。商業施設や住宅が増え、人口の流入が激しい地域である。昨年度より3年保育がスタートし、保護者・地域の期待は高く、校区外からの入園園児も多い。しかし、年々働く保護者が増加し、園児数は激減する一方である。近年コロナ禍の中で社会状況が一変し、子ども同士、保護者同士のつながりがますます希薄になっている。また、子どもの遊びや文化も大きく変容し、ゲーム・タブレットやスマホ等 ICT 機器を使って遊んでいる子が増加し、選択肢の幅が大きくなり、共通の話題が持たなくなりつつある。

保護者の価値観も多様化し、子ども主体をはき違え、子どもに気を遣いながら接する保護者や理解や生活習慣等 支援が必要な保護者がいる。また、周りの人とあまり交わろうとせず、自分で考える子育てをする保護者も増えている。

子ども達は、療育に並行通園する等 支援を要する園児が多い。昨年度コロナ禍が明け、友達や異年齢の関わりの中で、友達大好き・遊ぶこと大好きな子ども達が増えてきた。しかし、思い思いに好きな遊びを見つけて楽しんでいるが、人と関わる経験や色々な生活経験の不足、こだわりなどから、不安感が強く、初めてのことにチャレンジしない子や自分の思いや困り感を表出することが苦手な子も多い。

このような実態から、一人一人が安心して園生活を楽しみ、集団の一員として自信をもって行動し、友達と力を合わせる大切さや楽しさ、達成感や満足感を感じ取ることができるよう、人との関わりや自然とのふれあいなどリアルで豊かな感動体験活動を通して、教育目標に迫っていききたい。

（教育指導の重点）

- ① 一人一人が自信をもって自己発揮できる子を育てるために
 - ・一人一人が自分を安心して表出できる関係を教師とつくる。
 - ・個の実態や育ちを丁寧に見取り、小さな成功体験を積み重ねながら自己充実を図る。
 - ・互いの違いを受け止め、認め合い、応援し合える集団づくりをする。
 - ・専門家を招聘したり、多面的な幼児理解に努めたりする等 園内研修の充実を図る。
- ② 直接体験を大切にしたい感動ある保育実践をするために
 - ・子どもの声に耳を傾け、子どもが「やってみよう」「もっと～したい」と興味・関心を高め、遊びが連続・発展するような保育内容や環境を充実する。
 - ・幼児の体力（身体力）・耐力（さまざまな困難に耐え打ち勝つ力）・対力（人と関わる対応力）を育てる保育内容の工夫をする。
 - ・子どもの実態やねらいをもとに感動体験、直接体験、試行錯誤できる環境の充実を図り、伝えたいと思えるような場を工夫する。
- ③ 保護者や地域の人とのつながりを大切にするために
 - ・保護者や関係機関との丁寧な連携を通して信頼関係を築き、子育てについて共に考える。
 - ・PTA活動や地域行事への参加を通して、子育ての楽しさや喜びを実感する場を設ける。
 - ・幼保小連携・接続の充実を通して、育ちと学び・人をつなげる。

（研究テーマ）

一人一人が自己表現し、自信をもって活動する幼児
～「伝えたい」気持ちを育む保育内容や環境を通して～

（研究公開計画）

8月23日 令和6年度広島県乳幼児期の教育・保育研究協議会での実践発表